

第 1 編

基 本 方 針

| | |
|--------------------------------|---|
| 1 札幌市まちづくり戦略ビジョン | 5 |
| (1) 札幌市まちづくり戦略ビジョン <ビジョン編> | 5 |
| (2) 札幌市まちづくり戦略ビジョン <戦略編> | 5 |
| 2 札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン 2015 | 6 |
| 3 札幌市国際戦略プラン | 7 |
| (1) 策定の趣旨／目指す国際都市像／基本方針 | 7 |
| (2) 国際化推進連絡協議会 | 8 |

1 札幌市まちづくり戦略ビジョン

(1) 札幌市まちづくり戦略ビジョン <ビジョン編>

札幌市では、札幌を取り巻く社会経済情勢が大きく変化している状況の中、今までの価値観を転換し、先人の培ってきた財産と、一人一人の創造性を生かして、「新たな創成期」を切り開いていくため、これまでの札幌市基本構想と第4次札幌市長期総合計画に替わる新たなまちづくりの基本的な指針として、平成25年(2013年)に「札幌市まちづくり戦略ビジョン」を策定した。

国際分野においては、グローバル化が進む中、人口減少に伴い、縮小が見込まれる札幌の経済規模を補うためには、成長著しいアジアの活力を最大限に取り込むことが必要であり、そのために、戦略的に相手先の国・地域を定め、需要を取り込んでいくことが求められている。

○札幌市の都市像

北海道の未来を創造し、世界が憧れるまち

札幌・北海道の様々な魅力資源を、一人一人の創造性によって、より磨き上げながら、それを国内及び世界に発信することで、世界との結び付きを強め、投資や人材を呼び込むなど、世界が憧れ、活力と躍動感にあふれる、心ときめくまちを実現します。

互いに手を携え、心豊かにつながる共生のまち

誰もが生きがいと誇りを持ちながら、互いにつながり、支え合うことで、生きる喜びと幸せを感じられる、心豊かで笑顔になれるまちを実現します。

○まちづくりの基本目標

基本目標①共生と交流により人と人がつながるまちにします

<将来のまちの姿>

- ・地域における多文化共生の意識が醸成され、様々な国籍や民族の人々が、国や文化の違いにかかわらず、お互いを認め合い、地域の一員として生活しています。

基本目標⑦強みを生かし世界とつながるまちにします

<将来のまちの姿>

- ・札幌・北海道の強みを生かし、アジアを始めとする経済成長の著しい地域からの観光客の増加やこのような地域への販路の拡大などにより、多くの外貨を獲得しています。
- ・市内や近隣市町村への外国企業の進出により、新たな雇用や地場企業への様々な波及効果が生まれています。
- ・企業では、グローバル化に対応した国際的な視野を持った人材が活躍しています。
- ・札幌・北海道の地理的な特性などを踏まえた海外との様々な都市間交流や互恵的な国際協力や、新たなビジネスへの架け橋になっています。

(『札幌市まちづくり戦略ビジョン ビジョン編』より抜粋)

(2) 札幌市まちづくり戦略ビジョン <戦略編>

「札幌市まちづくり戦略ビジョン 戦略編」では、今後、札幌市が戦略を持って取り組むべき3つのテーマ「暮らし・コミュニティ」、「産業・活力」、「低酸素社会・エネルギー転換」に沿った施策を示している。

○創造戦略(国際関連部分)

創造戦略1 地域福祉力創造戦略～市民が孤立することのない地域づくり～

1-③災害に備えた地域防災体制づくり

創造戦略4 札幌型産業創造戦略～新たな価値の創造による産業の高度化～

4-①食の魅力を生かした産業の高度化

4-②魅力あるまちづくりと観光振興の一体的推進

創造戦略5 都市ブランド創造戦略～道内循環を高め、道外需要を取り込む手法と基盤づくり～

5-①世界の活力を取り込む国際戦略の積極展開

5-②創造性を生かしたイノベーションの誘発

5-④シティプロモート戦略の積極展開

創造戦略6 産業人材創造戦略～将来の札幌・北海道経済を支える人材の育成・活用～

6-①将来を担う創造性豊かな人材の育成・活用

(『札幌市まちづくり戦略ビジョン 戦略編』より抜粋)

2 札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン 2015

○計画策定の趣旨、計画の位置づけ、計画期間

札幌市は、平成 27 年前後をピークに、人口減少というこれまで経験したことのない時代の転換点を迎え、今後、経済規模の縮小や税収の減少、さらには老朽化した都市基盤の更新需要の集中などにより、財政状況はより一層厳しくなることが予測されている。

こうした厳しい時代に立ち向かっていくため、財政規律を堅持しつつも未来への投資は積極的に行う「メリハリの効いた財政運営」により、**札幌市まちづくり戦略ビジョン**の実現をより一層強力に推し進めていくことが急務となっている。

「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン 2015」は、**札幌市まちづくり戦略ビジョン**を実現するための「中期実施計画」として、札幌市の行財政運営や予算編成の指針となるものであり、戦略ビジョンとともに総合計画に位置付けられ、平成 27 年度から平成 31 年度（2015～2019 年度）までの 5 年間で計画期間としている。

なお、戦略ビジョンの基本的な方向に沿って策定する「札幌市国際戦略プラン」をはじめ、各分野の個別計画とも、考え方や方向性、施策などの整合性を図っていく。



○政策目標（国際関連部分）

政策目標 1 互いに支え合う地域福祉が息づく街（創造戦略 1：地域福祉力創造戦略）

- ・ 施策 3 災害に備えた地域防災体制づくり

政策目標 4 北海道経済の成長をけん引する街（創造戦略 4：札幌型産業創造戦略）

- ・ 施策 1 食の魅力を生かした産業の高度化
- ・ 施策 2 魅力あるまちづくりと観光振興の一体的推進

政策目標 5 国内外の活力を取り込む街（創造戦略 5：都市ブランド創造戦略）

- ・ 施策 1 世界の活力を取り込む国際戦略の積極展開
- ・ 施策 2 創造性を生かしたイノベーションの誘発
- ・ 施策 4 シティプロモート戦略の積極展開

政策目標 6 産業分野の人材を育む街（創造戦略 6：産業人材創造戦略）

- ・ 施策 1 将来を担う創造性豊かな人材の育成・活用

（『札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン 2015』より抜粋）

3 札幌市国際戦略プラン

○策定の趣旨

人口減少社会の到来や、グローバル化のさらなる進展に伴い、世界の相互依存が強まり、観光や留学、投資先として選ばれるための都市間競争が激しさを増している一方で、海外からの観光客や外国籍市民が増加している。

札幌市においても、これまでに経験したことのない社会経済状況の中、横断的な連携を深め、戦略的かつ効果的な国際施策を実現し、札幌の国際化を海外からの活力の取り込みと地域活性化につなげていくための総合的な計画を策定する必要がある。

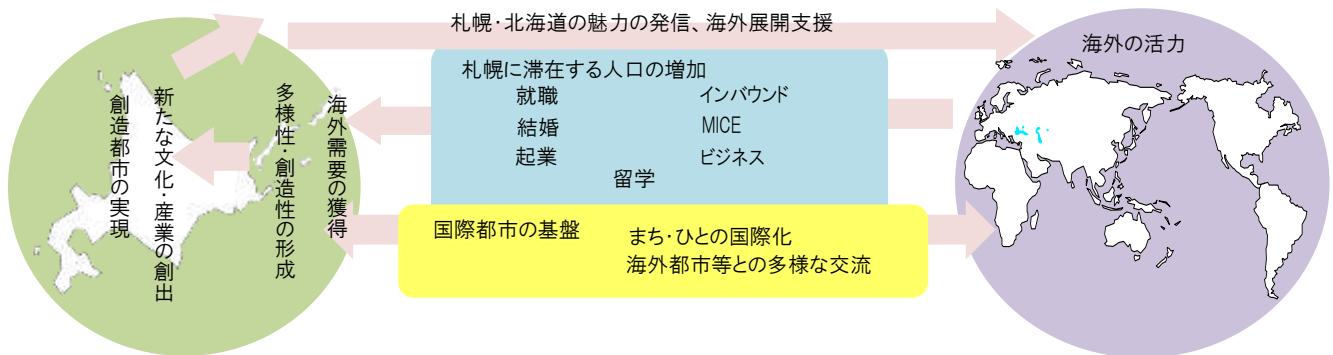
そこで、このような背景を踏まえ、国際化施策の基本的な指針である「札幌市国際化推進プラン」（平成14年度～23年度）を抜本的に改訂し、札幌市まちづくり戦略ビジョンの部門別計画として位置づけられる「札幌市国際戦略プラン」（平成25年度～34年度）を策定した。

○目指す国際都市像

創造性と活力あふれ、誰もが住みたくなる国際都市さっぽろ

プランでは、10年後の札幌の国際都市像として、創造性に満ち、活力にあふれる誰もが住みたくなるような都市を目指し、札幌の歴史に根差す「多様な文化を受容するオープンな気質」を生かし、海外との様々な交流から創造性を生み出す国際都市の実現に取り組んでいくこととした。

国際都市としてまちが活性化され、札幌の魅力がさらに向上して、新たな札幌のライフスタイルが人々を引き付ける、という好循環を生むことにより、将来的には、札幌の魅力に引き付けられた多くの人々が国内外から集まり、異なる視点を持つ人々が影響し合っってイノベーションを誘発し、新たな文化・産業を創出するまちとなることを理想とする。



○基本方針

基本方針 I 国際競争力の獲得～札幌の魅力発信と海外活力の取り込み

経済のグローバル化の潮流をチャンスと捉え、札幌の魅力資源を活用して海外の成長を取り込む競争力を獲得し、札幌・北海道の活力向上を目指す。

(取組の方向性)

- ① 魅力発信と海外シティプロモートの強化
- ② 国際観光・MICE 誘致受入強化
- ③ 地理的特性や札幌・北海道の強みを生かした海外展開支援
- ④ グローバル人材の誘致・活用促進

基本方針Ⅱ 多文化共生社会の実現～多様性と創造性の創出

誰もが住みたくする国際都市の実現に向け、豊かにつながる多文化共生社会の実現により、まちの多様性を高め、創造性あふれるまちを目指す。

(取組の方向性)

- ① 国際感覚豊かな人材の育成・活用
- ② 地域での交流と共生の促進
- ③ コミュニケーション・生活支援の充実

基本方針Ⅲ 海外ネットワークの活用～未来へつなぐ世界との互恵的協力関係の構築

札幌と海外とのネットワークの在り方を検討し、互恵的な協力関係を築き、その活用を通じて将来の多様な交流につなげていくことを目指す。

(取組の方向性)

- ① 世界冬の都市市長会の積極活用
- ② 将来を見据えた新たな海外ネットワークの構築
- ③ 信頼を基礎とした互恵的関係の構築

○国際化推進連絡協議会

本市の国際化に関して、庁内の関係する部局が緊密な連絡や情報交換、相互調整を図る目的で、1994年度（平成6年度）に、国際化推進連絡協議会（事務局 国際部）を発足させた。

その後、「札幌市国際化推進プラン」策定検討のため2001年（平成13年）に招集されたほか、2008年度（平成20年度）には、外国籍市民の市政に関する意見や生活上の課題等を把握するため市内在住の外国籍市民を対象に実施する「札幌市外国籍市民意識調査」の事前協議及び調査結果報告のため、招集された。

また、2011年度（平成23年度）から2013年度（平成25年度）にかけて、「札幌市国際化推進プラン」の改訂版となる「札幌市国際戦略プラン」の検討のため招集され、プラン案を協議した。

[札幌市国際化推進連絡協議会メンバー]（2019年（平成31年）3月31日現在、25名）

| | |
|--------------------------|---------------------|
| 危機管理対策室危機管理対策部長 | 経済観光局産業振興部長 |
| ○総務局国際部長 | ◎経済観光局産業振興部国際経済戦略室長 |
| 総務局広報部長 | 経済観光局観光・MICE推進部長 |
| まちづくり政策局政策企画部長 | 環境局環境事業部長 |
| まちづくり政策局政策企画部ICT戦略推進担当部長 | 建設局総務部長 |
| まちづくり政策局都心まちづくり推進室長 | 都市局市街地整備部長 |
| 財政局財政部長 | 交通局事業管理部長 |
| 市民文化局地域振興部長 | 水道局総務部長 |
| 市民文化局文化部長 | 病院局経営管理部長 |
| スポーツ局スポーツ部長 | 消防局総務部長 |
| スポーツ局招致推進部長 | 代表幹事区 市民部長 |
| 保健福祉局総務部長 | 教育委員会学校教育部長 |
| 子ども未来局子ども育成部長 | |

◎は会長 ○は副会長

◎印は会長